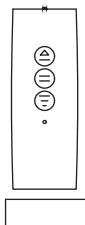


短焦点対応 ケース付きフラット電動スクリーン

[WCFシリーズ] 取扱説明書

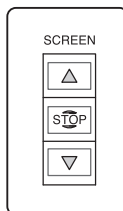
この度は電動スクリーンをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただくために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも読むことのできる場所に大切に保管してください。

この製品は「赤外線リモコン」でのスクリーン設置方法となっておりますが、追加で「壁スイッチ」を設置することが可能です。「壁スイッチ」も設置する場合は、手順4に従って設定してください。



■赤外線リモコン

手順3に沿ってスクリーン設置した後は、手順6（スクリーンの操作方法）に進んでください。



■壁スイッチ

赤外線リモコンの設置後、さらに手順5（壁スイッチの結線方法）に進んでください。

安全上のご注意

安全上に関する重要な内容ですのでよくお読みの上、必ずお守りください。誤った使用をした場合、事故により使用者が重傷を負う危険性があるものを「警告」、傷害を受けたり物的損害の発生が想定されるものを「注意」として明記しています。

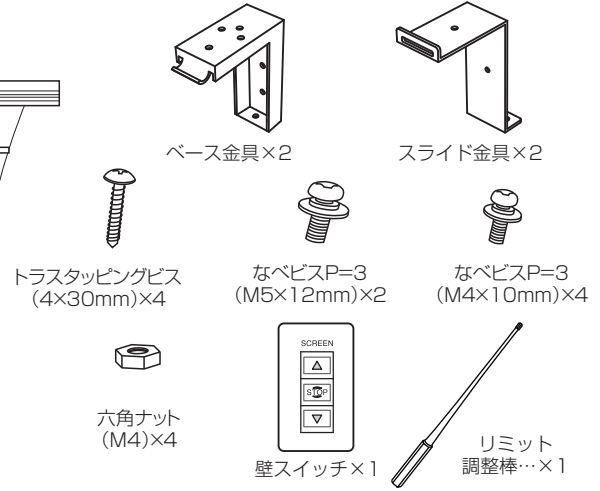
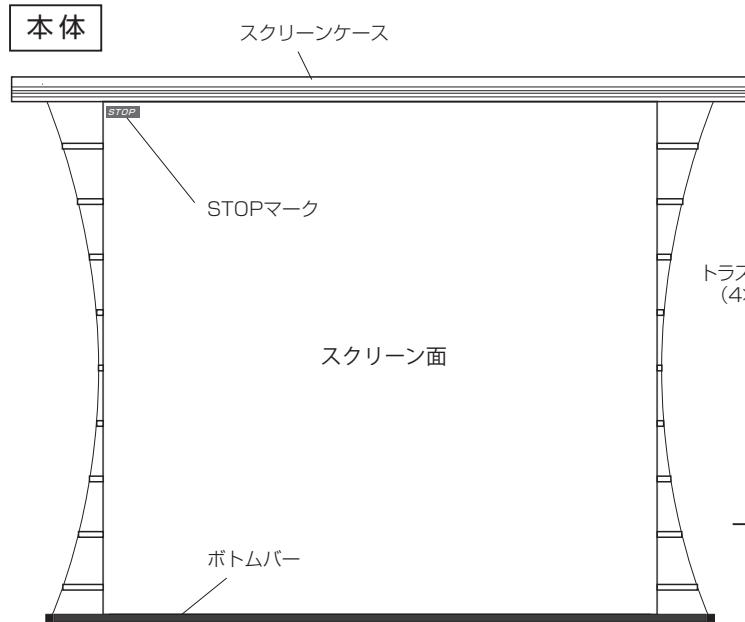
警告 !	注意 !	<ul style="list-style-type: none">・スクリーンの取り付け作業は必ず2名以上で行ってください。・取り付ける場所の強度を十分に確認し、しっかりと固定してください。落下の危険があります。・ベース金具フック部に確実に掛かっていることを確認してください。落下の危険があります。・すべての取り付けが完了後、電源線を接続してください。電源線を接続した状態で作業しないでください。感電の危険があります。
	禁止 ⊘	<ul style="list-style-type: none">・部品、製品を分解しないでください。落下・感電の危険があります。・工場出荷時の設定位置（STOPマーク）より下げたの使用はやめてください。スクリーン面が落下する危険があります。・スクリーン面にぶらさがったり、物を掛けたりしないでください。また、無理な力を加えないでください。本体、スクリーン面が落下する危険があります。
注意 !	注意 !	<ul style="list-style-type: none">・スクリーン面を昇降させる際には、周囲を確認してから操作してください。スクリーン面が人や物に接触する可能性があります。・使用後は必ずスクリーン面をケースに収納してください。長期間使用した状態で放置すると、スクリーン面の品質を損なう恐れがあります。



株式会社 シアターハウス

〒910-0122 福井市石盛町613
TEL 0776-56-0325 / FAX 0776-56-2647
HP: <https://theaterhouse.co.jp>

1 製品各部の名称



壁付け金具付属品

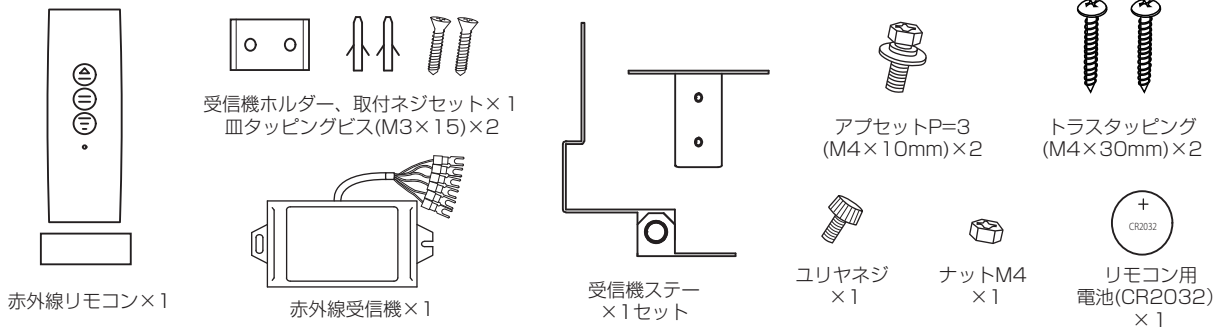
(※別途ご注文品となります)



【※ご注意※】

電源コードは同梱されていません。別途ご用意ください。

赤外線リモコン付属品



2 取り付け前の注意点 (取付場所の注意点)

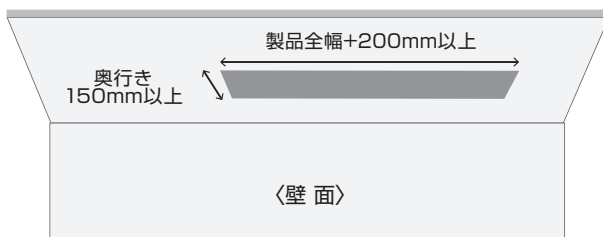
スクリーン用下地の準備する

重量があるスクリーンの設置となりますので、必ず下地が必要です。下地として、ベニヤ板(コンパネ)の厚さ12mm以上をスクリーンの取付け位置に準備してください。下地の取り付けは、製品落下の心配がないよう確実に取り付けてください。

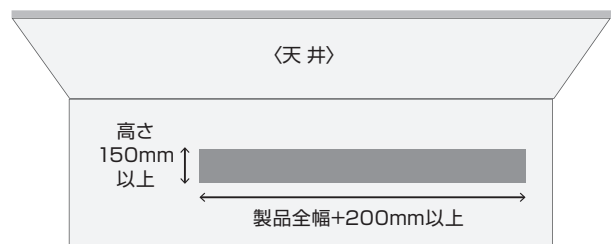
※注意点※

石膏ボードを材料とする面へのスクリーン設置は、落下の原因となるため取り付けできません。石膏ボードアンカーも落下の危険があるので使わないで下さい。

天井付けの場合



壁付けの場合 (※別途「壁付け金具」が必要となります)



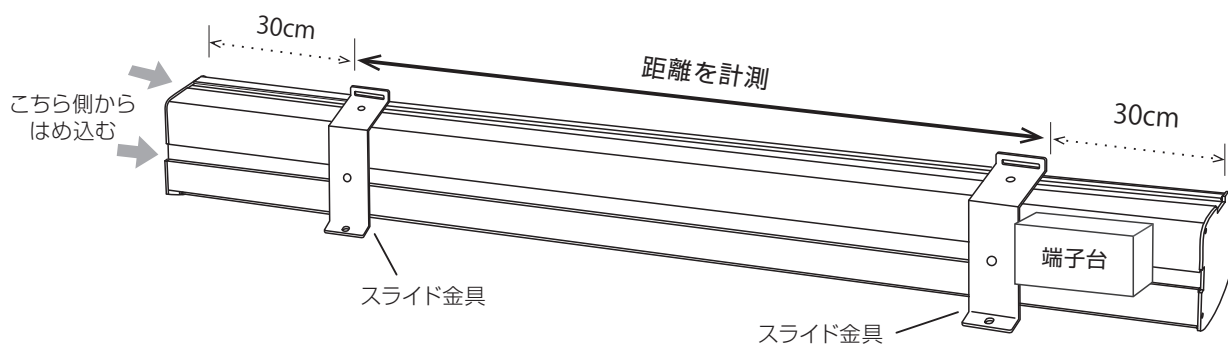
3 スクリーン設置方法 (ベース金具の取り付け)

① ベース金具の取付位置を決める

スクリーン本体を床に置き、スライド金具を片側から溝に合わせてはめ込みます。金具をスライドさせながらスクリーン両端より30cm内側の位置になるようにします。スライド金具の内側の距離を計測し、設置したい場所に鉛筆などで印を付けます。



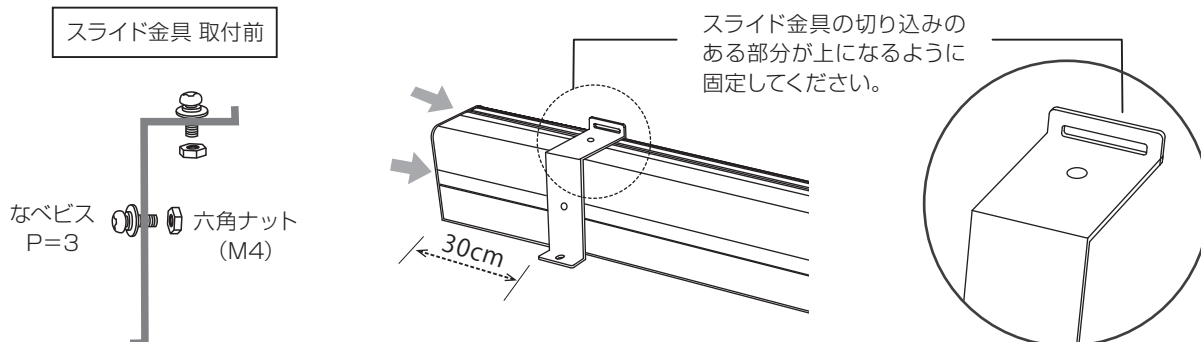
裏面からみて端子台のない左側からスライド金具を差し込み、右にある端子台にかからない位置にスライド金具を配置してください。



② スライド金具を取り付ける

スライド金具を取り付ける前に、六角ナット(M4)となべビスP=3(M4×10mm)をゆるく締められた状態におきます。スクリーン本体の上部と後部の溝に、側面から入れ①で合わせたスライド金具の位置に合わせます。スライド金具のネジをしっかりと締めます。

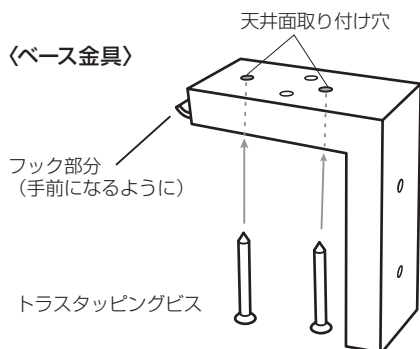
スライド金具 取付前



③ ベース金具/壁付け金具の取り付け

天井付けの場合

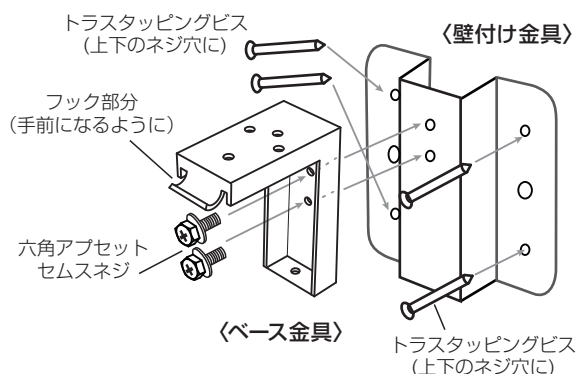
①で印を付けた位置に付属品のベース金具を取り付けます。取り付け穴を利用し、天井面にトラスタッピングビス(4×30mm)2本でしっかりと固定します。



ベース金具を取り付ける前にフック部分が手前になるよう確認してください。

壁付けの場合 (※別途「壁付け金具」が必要となります)

壁付け金具を①で印を付けた位置にトラスタッピングビス(4×30mm)4本で固定します。次にベース金具と壁付け金具を六角セムスネジ2本で固定します。




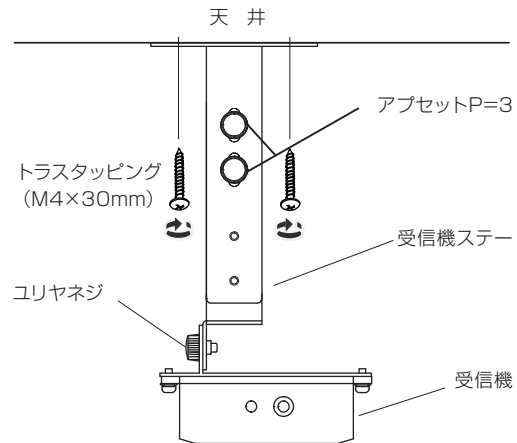
3 スクリーン設置方法（リモコン受信部の固定）

④ 赤外線リモコンの受信機を固定する

受信機ステーと受信機を図のようにユリヤネジで組み、付属のアプセットP=3で固定してください。（高さは任意の高さで止めます。）受信機を付属のトラスタッピング2個で天井の任意の場所に取り付けます。

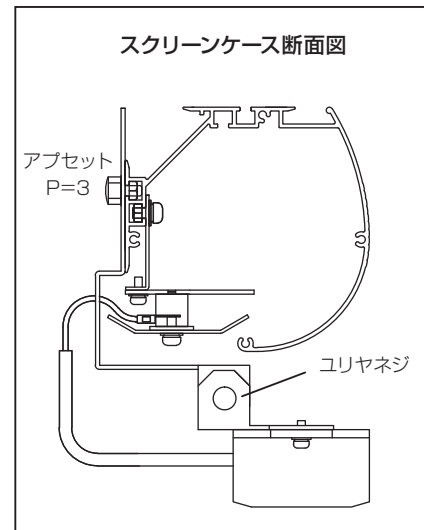
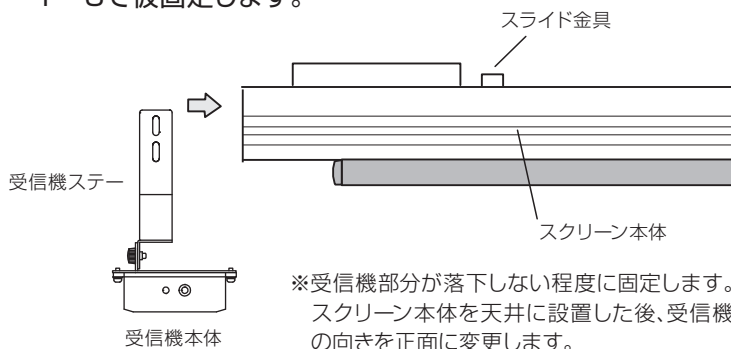
●天井取り付けの場合

 リモコンの送信部と受信機の受光部が向き合う形になるように設置してください。向き合っていないとリモコンが操作を正しく認識しません。



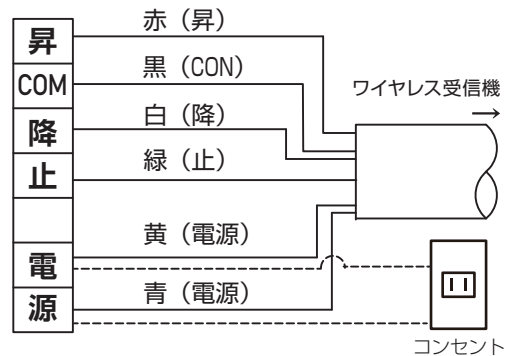
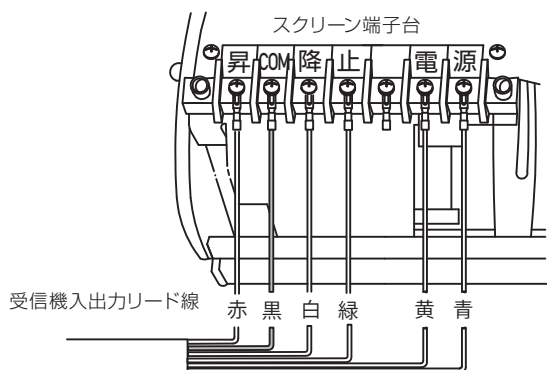
●スクリーンケース取り付けの場合

受信機と受信機ステーを組み合わせた状態のまま、スクリーンケースの側面から入れ込み、背面のナットをアプセットP=3で仮固定します。



⑤ 受信部とスクリーン本体の結線をする

端子台が見えるようにスクリーンケースの向きをゆっくり回転させ、端子台目隠しカバーを外します。電源を切った状態で、受信機の電源線・操作線を結線します。配線が正しく行われているか(他の線と触れていないか)を確認し、目隠しカバーを取り付けて電源を入れてください。



※電源線はφ1.6×2C(入力AC100V)、操作線は0.75sq×4C(VCTF相当)で配管配線工事は別途となります。

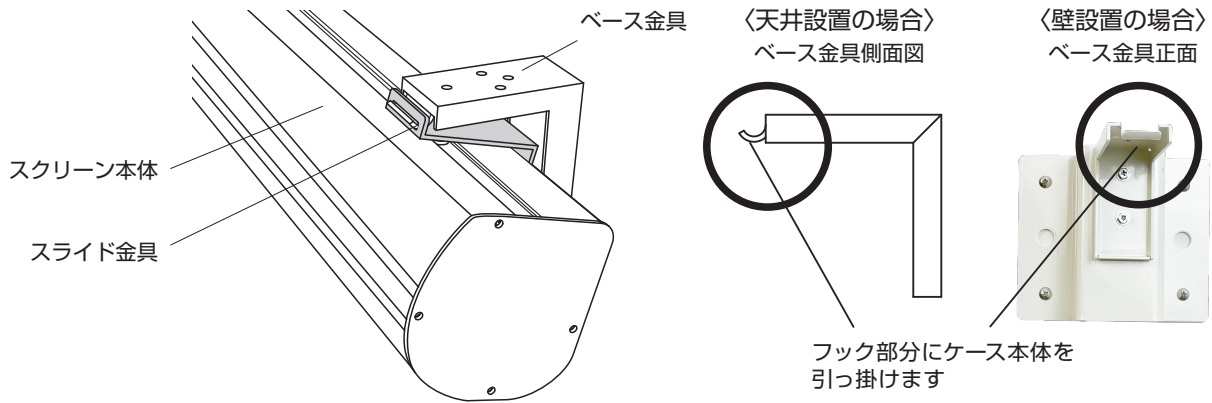
3 スクリーンの設置方法（スクリーン本体の取付）

⑥ スクリーン本体をベース金具に引っ掛ける

スクリーン本体を持ち上げ、3-③で取り付けしたベース金具のフック部分に、スライド金具の穴を確実に引っ掛けてください。

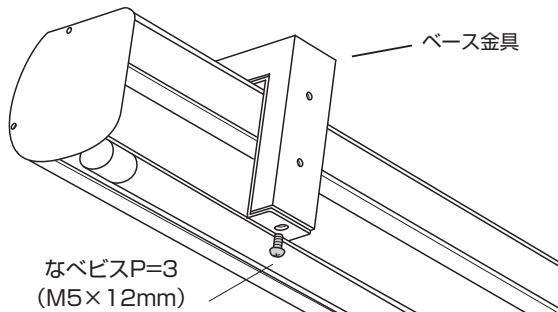


スクリーン本体はかなり重量がありますので、取付作業は必ず2人以上で行ってください。
受信機をケースに取り付けた場合は、ケースから外れないよう本体を持ち上げてください。



⑦ スクリーン本体を固定する

スライド金具の下穴とベース金具のビス穴を合わせ、ドライバーなどでしっかりと固定します。
なべビスP=3 (M5×12) が確実に締まっているか確認してください。



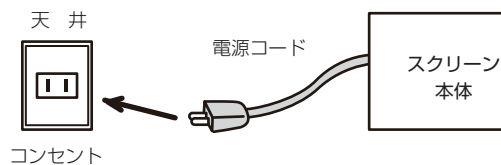
さらに「壁スイッチ」も設置する場合は、次の手順4に（壁スイッチの結線方法）に従って設置してください。

赤外線リモコンだけのご使用の場合は、手順5（スクリーンの使用方法）におすすみください。

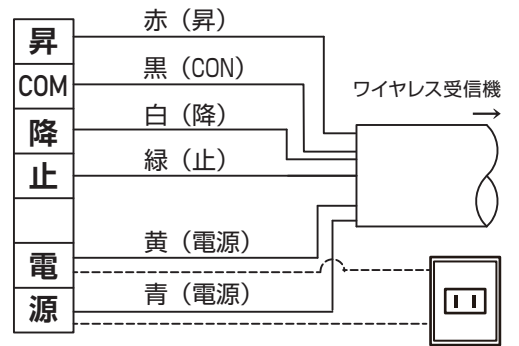
4 電源コードの取り付け

スクリーン本体の取り付けが完了したら、コンセントに電源コードを差し込んでください。
あらかじめ、スクリーンに向かって左側にコンセント(100V)をご用意ください。

- ・ 電源コードの長さは 900mm
- ・ 電源線はφ1.6×2C(入力 AC100V)、操作線 0.75sq×4C(VCTF 相当)



本製品に電源コードは付属しておりません。別途、ご用意いただく必要があります。
電源コードの取り付けは、電気工事士、または専門業者にご依頼ください。



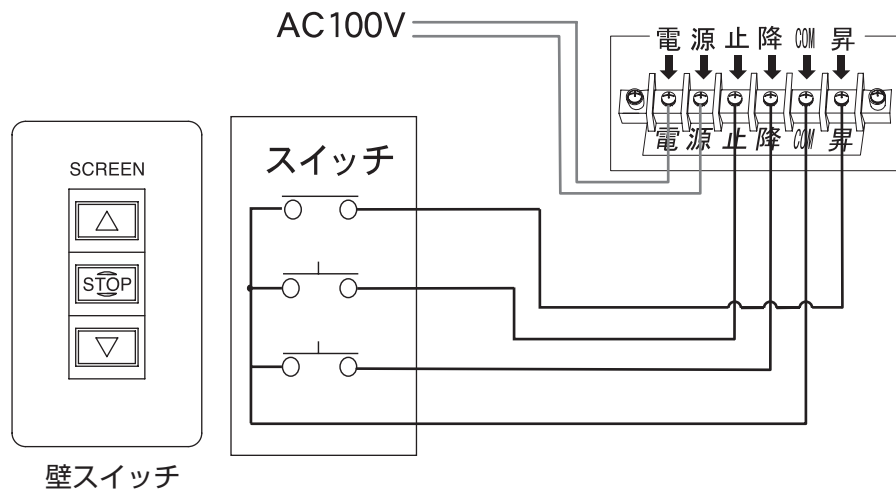
※黄色・青色のコードは電源コンセントにもつないでください。

5 壁スイッチの結線方法（追加で設置する場合）

端子台目隠しカバーを外し、電源線・操作線を結線する

電源を切った状態で、受信機の電源線・操作線を結線します。壁スイッチを結線して、所定の場所に取り付けます。

最後に配線が正しく行われているか（他の線と触れていないか）を確認し、目隠しカバーを取り付けて電源を入れてください。



6 スクリーンの操作方法

① スクリーンを使用するとき

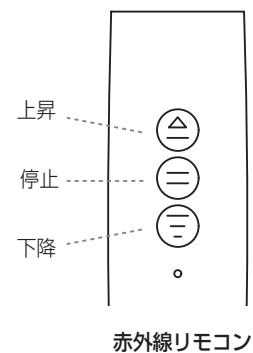
赤外線リモコンの⊖ボタン（壁スイッチの『▼』ボタン）を押します。
スクリーン面が設定された位置まで下降し停止します。

② スクリーンを収納するとき

赤外線リモコンの⊕ボタン（壁スイッチの『▲』ボタン）を押します。
スクリーン面が上昇し収納されて停止します。

③ スクリーンを停止するとき

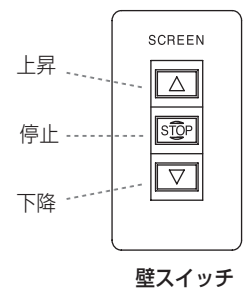
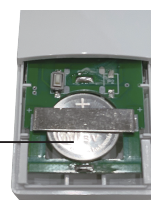
赤外線リモコンの⊖ボタン（壁スイッチの『STOP』ボタン）を押します。
スクリーン面を任意の位置で停止できます。



⚠ リモコンをご使用になる前に

リモコンに電池をセットする際に、電池の向きにご注意ください。表面が「+」になっていることをご確認ください。

「+」が
表面に



7 スクリーンの停止リミッター調整方法

スクリーン停止位置の調整は、工場出荷時の設定位置(STOPマーク)よりも上昇させた位置にのみ調整が可能です。

① 停止位置を下降させる場合

リミッター調整ねじを付属のリミット調整棒を使用し、反時計回りに回します。

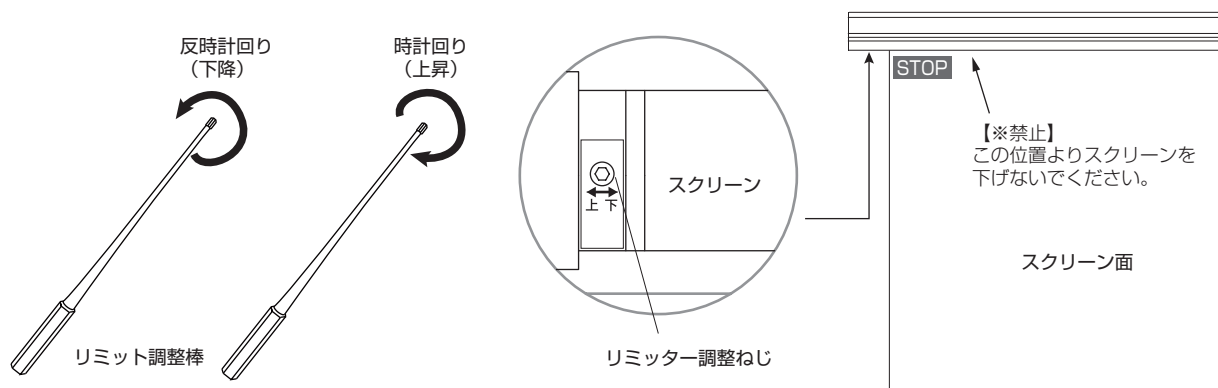
② 停止位置を上昇させる場合

リミッター調整ねじを付属のリミット調整棒を使用し、時計回りに回します。



禁止

工場出荷時の設定位置(STOPマーク)よりも設定位置を下げないでください。
スクリーンが落下、取り付けパーツが破損する危険性があります。



8 テンションワイヤーの調整

ボトムバー両端にある回転ノブを回しテンションワイヤーの張りを変えて、スクリーンの平面性を調整できます。

■張りを増す場合

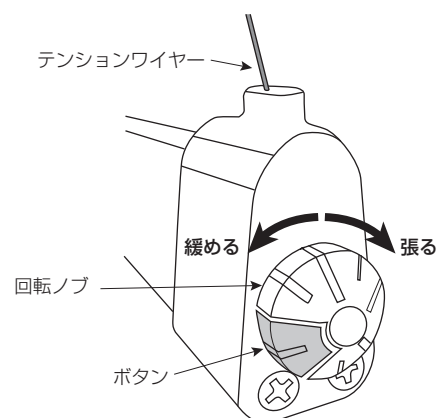
回転ノブを時計回りに回すことによりテンションワイヤーが引き込まれて張りが増します。

■張りを緩める場合

回転ノブにあるボタンを押しながら反時計回りに回すことによりテンションワイヤーの張りが緩みます。

※張りを調整する場合は必ず左右均等になるように調整して下さい。

※工場出荷時に最適な状態に調整済みです。不必要な調整はしないでください。



8 故障かな?と思ったら

スクリーンが動かない ※まずは下記の項目をご確認ください。

- ・電源が確実に接続されているか確認する。
- ・ブレーカーがONになっているか確認する。
- ・接続ケーブルが確実に接続されていることを確認する。
- ・赤外線リモコンの電池を交換してください。
- ・モーター内部の熱感知装置が働いている場合は、自動復帰するまでしばらく待つ。

アーム機能(ボトムバー)が動かない

- ・ボトムバーとアーム機構を固定しているビスをゆるめて位置を調整してください。

動作中に音がる ※音には、いくつか種類がございます。下記をご確認ください。

共鳴音 共鳴音であれば、スクリーン本体のモーターを触ると音がなくなります。
スクリーンを取り外しブラケットのネジを締めなおしたり、振動が壁を伝わり他の家具が共鳴している可能性もございます。ご確認ください。

主要部品の材質

スクリーン面	塩化ビニール樹脂
スクリーンケース	アルミ
ベース・スライド金具	鉄

製品保証

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、ご購入から1年間の間、無償保証とさせていただきます。

保証の免責事項

保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。

- (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (2) 当社の取扱書、カタログ等に記載されている使用条件環境の範囲を超えた使用による故障及び損傷
- (3) 当社指定以外の他社商品との特殊な組合せ及び使用による故障及び不具合
- (4) 施工上の不備に起因する故障及び不具合
- (5) お買い上げ後取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (6) 火災地震、水害落雷、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障及び損傷
- (7) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
- (8) 法令で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
- (9) 日本国内以外でのご使用による故障及び損傷
- (10) 経時変化によるスクリーン生地の日焼け、汚れ、ホコリなど